鑑定書

こちらの鑑定書は、サービスの雰囲気や内容をご紹介するために作成したサンプル（見本）です。

掲載されているご相談内容や人物設定は、すべて架空のものであり、実際のご依頼や個人情報とは一切関係ありません。

本物の鑑定では、お預かりしたご相談やお話は、外部に公開することは一切なく、大切に守らせていただきますのでどうかご安心ください。

また、本文の文章や構成などには著作権がございます（小鳥遊陽柊に帰属します）。

どうか無断での転載やコピー、模倣はお控えいただけますようお願いいたします。

小鳥遊陽柊

サンプル鑑定書

葉山様へ

葉山さん、改めてこの度は、数ある鑑定の中からご依頼いただき、心より感謝申し上げます。

今回お預かりしたご相談文から、長い間抱えてこられた葛藤と、そのなかでも誠実に向き合い続けてこられたお気持ちがひしひしと伝わってまいりました。

今回の鑑定では、まず葉山さんの手相から恋愛傾向・理想とする関係性・陥りやすいパターンなどを紐解き、それを踏まえたうえで、タロットカードを用いて問題の本質や今後の展開、対処すべきポイントについて丁寧に読み解いていきます。

ご自身の人生に真摯に向き合っておられる葉山さんの一助となりますよう、心を込めてお届けいたします。

小鳥遊 陽柊

ご相談内容（頂いた内容をそのまま転載しております。）

実は、複雑な恋愛関係に深く悩んでおり、どうしたら良いのかわからず、藁にもすがる思いでご連絡いたしました。

一年以上前になりますが、彼女がいることを承知で、ある方を好きになってしまいました。 自分の気持ちに区切りをつけ、諦めるためにも思い切って告白したのですが、まさかのことに、彼も私に好意を抱いてくれていると打ち明けてくれたのです。

その後、彼が彼女に事情を説明してくれたのですが、彼女はなかなか身を引いてくれません。 彼も長年の交際があったからか、強くは言えないようで、「このまま3人でなんとかやっていけないか」とまで言われる始末です。

何度も話し合いを重ねてきましたが、状況は一向に好転しません。それどころか、最近では彼が彼女に同調するような言動を見せるようになり、この堂々巡りの状態が1年以上も続いています。

私自身、もう 40 歳目前で、彼との将来を真剣に考えています。彼との子供を望んでいましたが、このままでは年齢的にも厳しい状況になるのではないかと、焦りと不安でいっぱいです。

彼は今、私やこの関係について、一体どう考えているのでしょうか？そして、この状況は今後どうなっていくのでしょうか？

八方塞がりのように感じており、この苦しい状況を変えるための具体的なアドバイスをいただけますでしょうか。

■鑑定書目次■

西洋手相術×東洋手相術×東洋気血色学で観る恋愛傾向 1

左手（内面的本質、潜在的なもの） 1

恋愛傾向 1

恋愛に対する価値観 2

相性の良いパートナー像 3

恋愛におけるつまずき傾向 3

恋愛期等 4

気血色によるエネルギー状態 4

右手（社会的振る舞い、顕在的なもの） 6

恋愛傾向 6

恋愛に対する価値観 7

外に見せる恋愛スタイル 7

恋愛におけるつまずき傾向 8

恋愛期等 8

気血色によるエネルギー状態 9

手相恋愛傾向総合鑑定 10

◆内なる本質と理想：深く、繊細な愛の持ち主 10

◆現実と心の叫び：献身の先に芽生えた「うんざり」と「怒り」 11

◆社会的な顔と現実的な葛藤：理性と自己軸を重んじる 12

◆総括：新しい幸福への転機と、輝く未来への一歩.....14

タロットによる占断.....16

近い過去の状況：ペンタクルの２（逆）.....17

現在の状況：ペンタクルの 8（逆）..... 18

近い未来に予測される状況：ワンドの女王（逆）.....20

相手の気持ちの変化（過去）：カップの王（逆）.....22

相手の気持ちの変化（現在）：カップの6（正）..... 23

相手の気持ちの変化（未来）：ソードの10（正）.....24

葉山さんの気持ちの変化（過去）： ソードの騎士（正）.....25

葉山さんの気持ちの変化（現在）： ペンタクルの王（正）.....26

葉山さんの気持ちの変化（未来）： ワンドの6（逆）.....27

最終結果：ソードの王（正）.....28

アドバイス（2枚）..... 30

アドバイスカード：カップの5（逆）..... 30

カード：カップの3（正）.....30

鑑定まとめとご質問への回答.....33

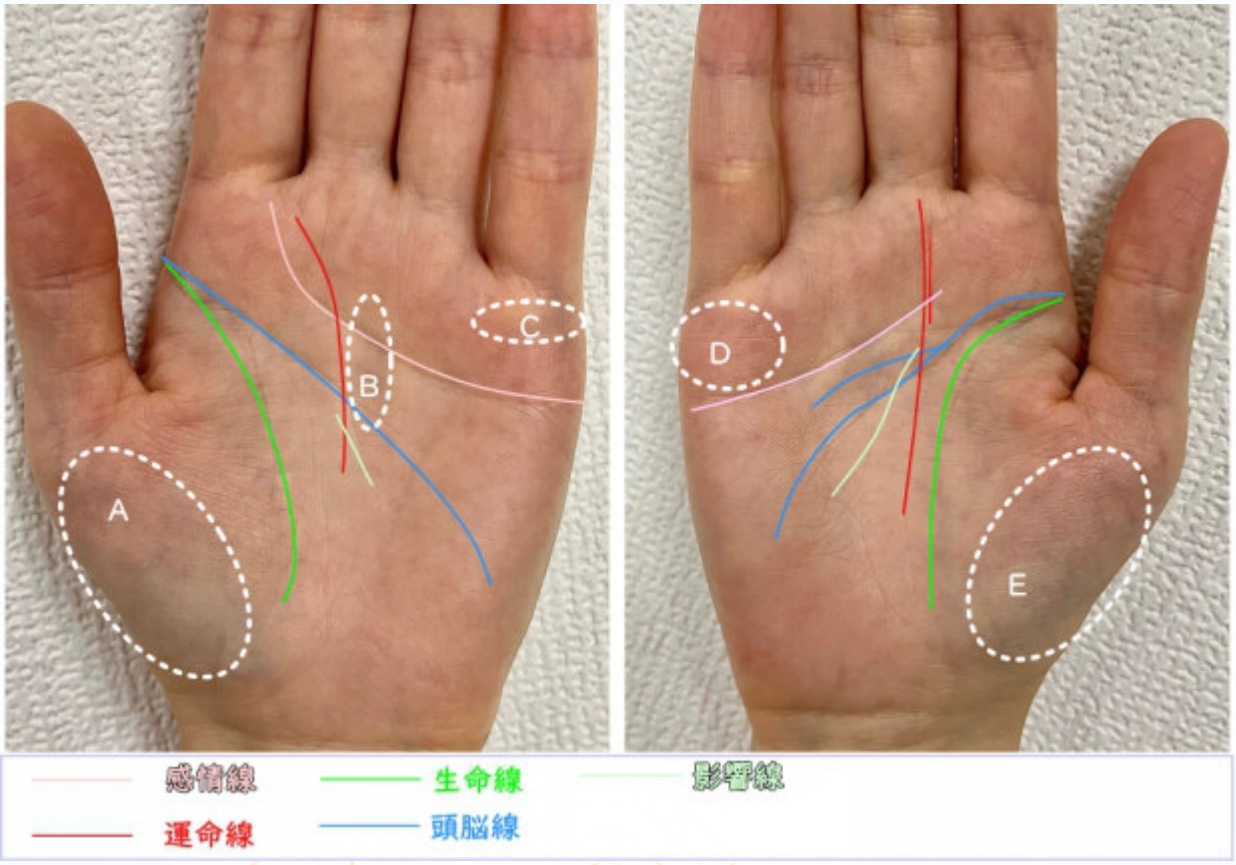
Q1. 年齢的にも厳しい中、子どもを望む気持ちはどうすればいいか35

Q2. 彼は今、どう思っているのか.....36

Q3. 今後どうなるのか不安..... 37

Q4.「状況を変えるためのよいアドバイスがほしい」.....38

西洋手相術×東洋手相術×東洋気血色学で観る恋愛傾向



左手（内面的本質、潜在的なもの）

恋愛傾向

【総括】繊細でロマンチック、本音は慎重派

- 感情線が長く、曲線的で中指を越えて伸びていることから、愛情は深く持続的。
- ただし分岐が少なく、感情を多くの人に開くというより、一点集中型の傾向あり。

©小鳥遊陽柊

- 内面的には「愛に溺れる」よりも「愛の世界を信じたい」タイプ。
- 頭脳線は月丘へ伸びる芸術型で、恋愛に幻想や理想、美意識を重ねることが多い。
- 恋は【心が惹かれる】かどうかで始まり、【現実的な条件】では動かない。
- ただし、運命線がしっかりしており、自己実現の志向もあるので、恋に飲まれすぎることはない。

恋愛に対する価値観

【総括】一体感と内面の共有を重視

- 感情線と頭脳線がどちらも長く、形状的に感性と理性のバランスが非常に良い。
- それゆえに「心からわかり合える関係」「一緒にいて落ち着く人」「沈黙が心地いい人」を好む。
- 表面では穏やかに見えても、実は恋愛にはかなり理想を持ち、それを大切にしている。
- 妥協して恋に入ることは少なく、自分の心が動かなければなかなか始まらない。

©小鳥遊陽柊

相性の良いパートナー像

❖ 感性が豊かで静かな人

芸術線の傾向があり、内面で共鳴する人でないと疲れる。

❖ 視野の広い思慮深い人

感情をぶつけ合うより、理解し合える人が理想。

❖ 自分の道を持っている人

運命線の形状的に、依存関係は避けたい傾向。

❖ お互いに干渉せず尊重し合える人

自由と心のつながりを両立させたい欲求がある。

恋愛におけるつまずき傾向

- 自分の世界観が強く、恋の初期段階でピンと来ないとすぐ引く。
- ロマンや心の通い合いを大事にする反面、現実とのギャップに傷つきやすい。思い込みや期待が強くなると失望も大きくなる。
- 自立心の強さ（運命線）から、関係性の中で主導権を持とうとする一面も。

©小鳥遊陽柊

恋愛期等

- 影響線が運命線に合流、その後通過している。20 代後半に心を動かす出会い、または恋愛があり、その経験により自分の人生と恋愛の両立が 1 つのテーマになった時期といえる。

気血色によるエネルギー状態

エリアA：自己犠牲・献身

この色の場合、献身的に奉仕している自分はある種の自己満足的な部分もありますが、本音では現状が辛くなってきており、うんざりした気分が現れだしています。

エリアB：運勢

この色の場合、相手に軽くみられているように感じている場合が多く自信喪失による気運の低下がみられます。
相手の態度や距離の取り方に、「どうせ私なんて…」と感じてしまったのかもしれません。

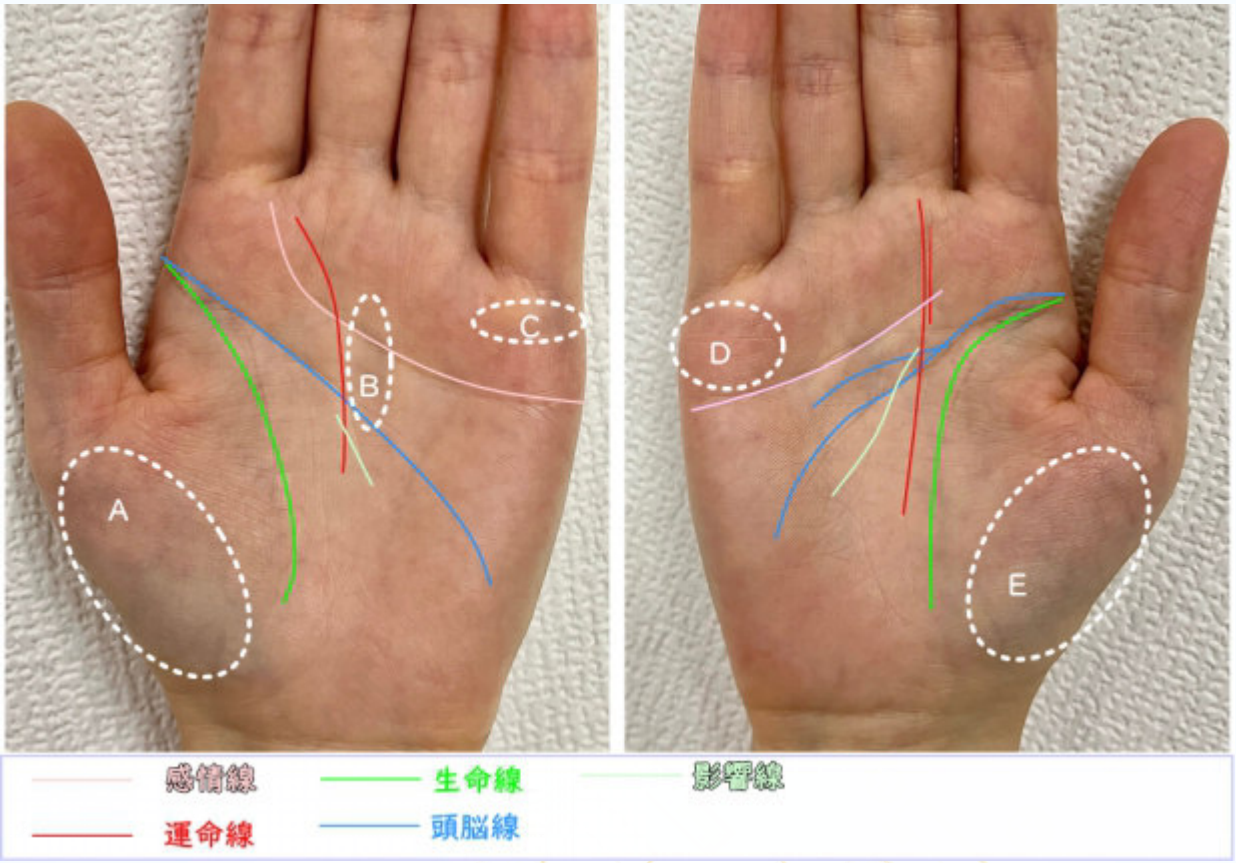
©小鳥遊陽柊

エリアC：恋愛感情

この色の場合、自身の力ではどうにもならないほど関係がこじれていると感じている状態です。精神面でいえば怒り、幻滅、嫉妬、怨嗟・・・と非常にやっかいな感情にとらわれて苦悶の様子を表しています。これらの感情は、自分でも手に負えないほどの渦となって、葉山さんを閉じ込めようとしていたのかもしれません。

Sample ©Haruhi.T

©小鳥遊陽柊



右手（社会的振る舞い、顕在的なもの）

恋愛傾向

【総括】現実的で慎重、だが本気は深い

- 感情線がやや直線的で分岐が少ない、感情表現は控えめだが、実は一途。
- 中指寄りに向かう感情線、恋愛にも「堅実さ」や「理性」を求める。
- 表向きは冷静、恋に溺れることを避けるため、なかなか「好き」とは言わないタイプ。

©小鳥遊陽柊

- 頭脳線は分岐し現実思考と空想・共感力の両方を持ち、状況判断に長ける。

恋愛に対する価値観

※右手に現れる「こうあるべき」と考えている価値観

【総括】ただの恋愛よりも「人生設計」として捉える

- 感情と理性の境界が明瞭
- 本音では「好きだけでは付き合えない」「先が見えないと不安」と感じる。
- 運命線の形状より、恋愛より「自分の軸」や「将来設計」を重視する姿勢。
- 恋愛を軽く扱うことはできず、「付き合うからには意味がある」前提。

外に見せる恋愛スタイル

- 表面上はあくまで自立的。他人に依存せず、対等な関係を築こうとする。
- 「対話できる関係」を重視する傾向。
- 感情表現は控えめでも、実際に好きになった相手にはとても誠実で深く関わる。

©小鳥遊陽柊

恋愛におけるつまずき傾向

- 感感情を抑えすぎる：感情線が直線的で分岐が少ないため、感情を内に溜めがち。誤解されることも。
- 理性が勝ちすぎてチャンスを逃す傾向：頭脳線がしっかりしすぎて、「考えすぎて動けない」場面がある。
- 恋と人生目標との葛藤：運命線が強いため、恋より自分の目標が優先され、両立がテーマに。

恋愛期等

- 影響線が運命線に合流、時期的には40歳前後になるので、おそらく現在の恋愛状況を示している可能性が高い。
- 44歳前後以降に運命線の横に運命線の一種であるサポート線が出現している。これは理解者や有力者の援助を受けて、事業や暮らしをサポートしてくれるというもの。恋愛期間中や結婚時にもこの相は出現する。

©小鳥遊陽柊

気血色によるエネルギー状態

エリアD：相手への憂い及び恋愛感情

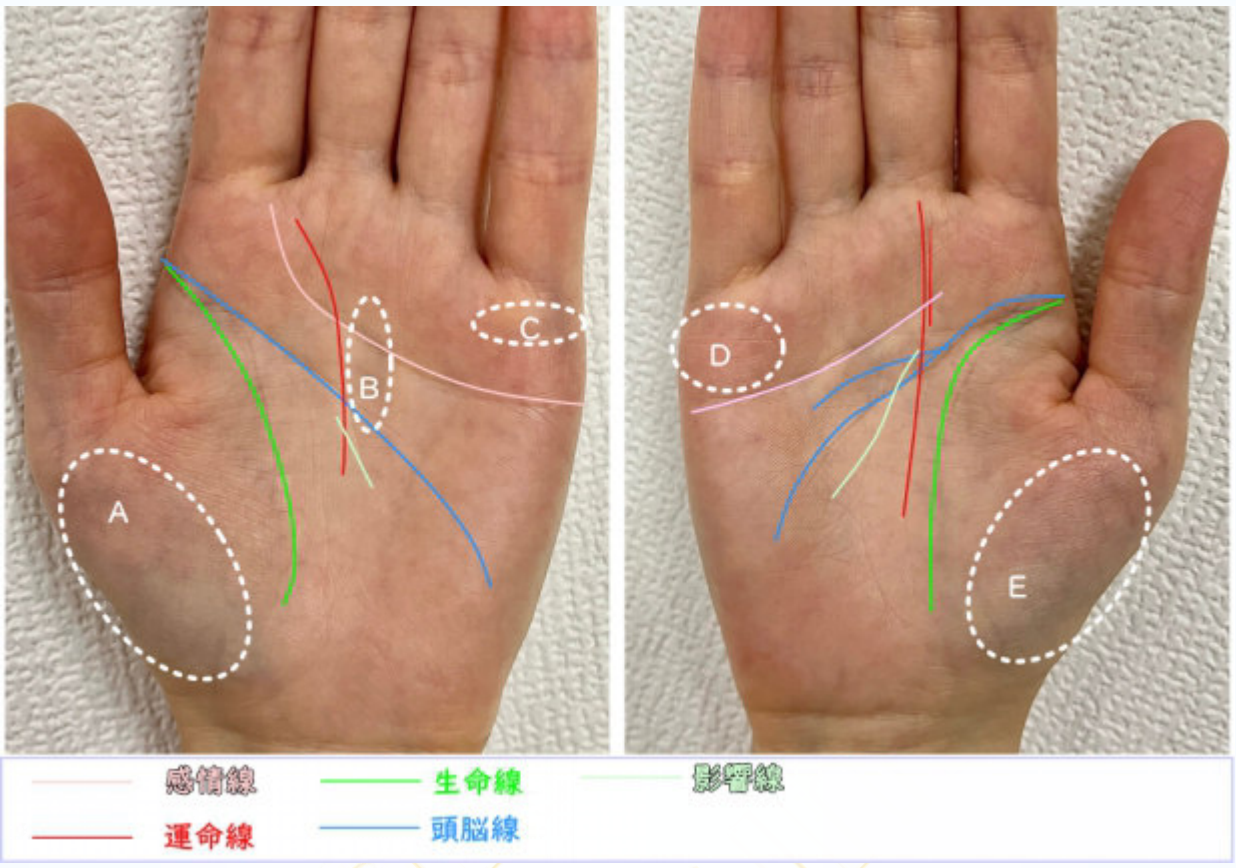
この色と形状の場合、金銭面的な影響も含めた憂いが出ている状態です。左手（エリアC）ほど強くはでていませんが、関係のこじれを感じさせる傾向もあります。社会的には精神的な問題よりも、自身の社会的な立場についての憂いが表面にでている状況と読めます。

エリアE：自己犠牲・献身

この色の感じは左手（エリアA）同様の様子がでています。内面的な部分に収まらず、右手にでてきているのですからかなり深刻な状況といえます。自分自身でも無視できないような状況といえます。

©小鳥遊陽柊

手相恋愛傾向総合鑑定



◆内なる本質と理想：深く、繊細な愛の持ち主

まず左手からは、葉山さんの**内面的本質**が語られています。葉山さんは非常に繊細でロマンチック、そして心の奥底では慎重な愛の持ち主です。感情線が長く中指を越えて伸びていることからも、**愛情深く持続的で、一度心を許した相手には一点集中で深く関わろうとする**傾向がはっきりと見て取れます。

頭脳線が芸術型であることから、恋愛に対しては非常に高い理想や美意識を抱き、心で惹かれるかどうかを最も重視

©小鳥遊陽柊

するタイプです。現実的な条件だけで恋に踏み込むことはなく、「愛の世界を信じたい」という純粋な気持ちを大切にされています。また、感情線と頭脳線のバランスが良く、理性と感性の両方を持ち合わせているため、「心から分かり合える関係」や「沈黙が心地よい」と感じるような、内面の深い共有を重視することが、葉山さんの恋愛における揺るぎない価値観です。

一方で、恋愛におけるつまずきやすい傾向としては、その強い理想故に、初期段階でピンと来ないとすぐ引いてしまったり、ロマンと現実のギャップに傷つきやすい点が挙げられます。また、運命線がしっかりしていることから、自己実現への志向も強く、関係性の中で主導権を持ちたいと無意識に願う一面もあるようです。20 代後半の出会いが、人生と恋愛のバランスを考えるきっかけとなったことも示されています。

◆現実と心の叫び：献身の先に芽生えた「うんざり」と「怒り」

現在の葉山さんの**心と身体の状態**は、手相の気血色に鮮明に表れていました。左手エリア A の気血色は、葉山さんがこれまで献身的に尽くしてきたこと、その奥に潜む自己犠牲

©小鳥遊陽柊

的な部分と、**現状への「うんざり」という本音が隠されている**ことを示唆しています。心が限界に近いサインであり、葉山さんの尽力が痛いほど伝わってきます。

さらにエリアBの色からは、相手に軽く見られているように感じ、自信を失いかけている状態が読み取れます。
しかし、軽んじられていい人など、決して一人もいません。そしてエリアCには、葉山さんの力ではどうにもならないほど関係がこじれていると感じている状態が強く表れていました。精神的な苦悶、怒り、幻滅、嫉妬、怨嗟といった感情が渦巻いていると出ていますが、これは葉山さんが本当に「信じたかった」「愛したかった」気持ちが、それほどまでに強かった証だと言えるでしょう。

◆社会的な顔と現実的な葛藤：理性と自己軸を重んじる

次に右手からは、葉山さんが社会的に見せる顔や顕在的な振る舞いが読み取れます。感情線がやや直線的であることから、感情表現は控えめですが、実は非常に一途な愛情の持ち主です。表向きは冷静で、恋に溺れることを避けようとする傾向があるため、なかなか「好き」という感情を言葉

©小鳥遊陽柊

にしないタイプかもしれません。

葉山さんは恋愛を単なる感情的なものとして捉えるのではなく、「人生設計」の一部として、非常に現実的に捉える価値観を持っています。頭脳線もしっかりしているため、「好きだけでは付き合えない」「先が見えないと不安」と感じる理性的な面と、相手との対話を重視し、対等で自立した関係を築こうとします。恋愛よりも「自分の軸」や「将来設計」を優先させる傾向があり、「付き合うからには意味がある」という真摯な姿勢が伺えます。

恋愛におけるつまずきやすい傾向としては、感情を内に溜め込みすぎて誤解されたり、理性が勝ちすぎてチャンスを逃したりする点が挙げられます。また、運命線が強いことから、恋と自身の人生目標との間で葛藤が生まれやすいことも見て取れます。

現在の恋愛状況は、右手の影響線が運命線に合流している 40 歳前後の時期に重なっており、この状況が葉山さんの人生に大きな影響を与えていることを示しています。しかし、44 歳前後には運命線の横にサポート線が現れています。

©小鳥遊陽柊

これは、理解者や有力者の援助によって事業や暮らしがサポートされることを意味し、恋愛期間中や結婚時にも現れる吉相です。これは、葉山さんが未来に向けて力強く歩むための希望の光となるでしょう。

右手の気血色であるエリアＤとＥは、左手ほどではないものの、やはり関係のこじれを感じさせます。特にエリアＥの「自己犠牲・献身」の色が右手にも現れていることから、内面に留まらず、社会的な振る舞いとしても無視できないレベルで、ご自身の身を削っている現状がうかがえます。

◆総括：新しい幸福への転機と、輝く未来への一歩

左手と右手の鑑定結果を総合すると、葉山さんは内面的には深く純粋な愛と理想を求める一方で、社会的な振る舞いとしては非常に現実的で、自己軸をしっかり持ちたいと願う女性であることが分かります。現在の状況は、この内なる理想と現実のギャップ、そして彼への深い愛情とそれに伴う葛藤が、葉山さんを深く苦しめている状態です。

気血色から見える「うんざり」「怒り」「自己犠牲」といった感情は、葉山さんの心がこれ以上無理をしてはいけないと強く訴えているサインでもあります。

©小鳥遊陽柊

しかし、葉山さんの手相には、困難な状況を乗り越えるだけの強さと、未来を切り開く可能性が秘められています。**特に44歳前後に出現するサポート線は、葉山さんの人生に新たな展開や、理解ある存在からの支援が訪れることを示唆**しています。

今、葉山さんは人生の大きな転機に立っています。この苦しい状況から一歩踏み出し、葉山さんた本来の輝きを取り戻すためには、まずご自身の心の声に耳を傾け、葉山さんが本当に望む「愛」と「人生」の形を明確にすることが重要です。そして、その理想と現実のギャップに、葉山さん自身がどう向き合っていくか、具体的な行動を考えていくことが次のステップとなります。

手相鑑定における恋愛傾向については以上となります。

次に、これらを踏まえてタロット鑑定を行い、葉山さんからの質問の回答をいたします。

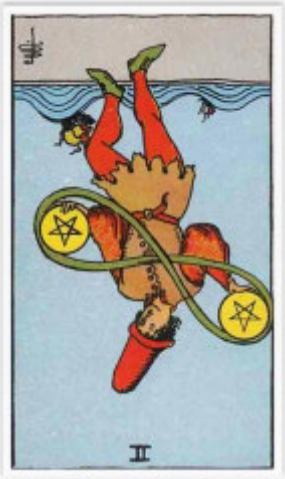
©小鳥遊陽柊

タロットによる占断

※本鑑定書で使用しているスプレッドは一例です。
実際の鑑定では、ご相談内容に応じて最も適したスプレッドを選定いたします。
内容によっては、より的確なリーディングのためにオリジナルのスプレッドを作成することもございます。
使用するカードの枚数はご相談のテーマにより異なりますが、概ね 12 枚前後を基本としています。

©小鳥遊陽柊

近い過去の状況：ペンタクルの2（逆）



このカードは本来、状況のやりくり、両立、バランス感覚を意味しますが、逆位置で出たことで、「バランスを崩している」「限界を迎えている」状態を示唆しています。

この恋の始まりは、彼の「二人の女性の間での揺れ」や「二重生活的な状況」を反映していました。彼はどうにか両者の気持ちを傷つけずにやり過ごそうとし、葉山さん自身もまた、「想いを伝えたが、相手には他に付き合っている女性がいる」という二項対立の中で、心を大きく揺らしていた時期だったでしょう。しかしこのカードが逆位置で現れたことで、そうしたなんとかやりくりしようとする関係がすでに限界に達していたことが伺えます。

その結果として、それぞれが「どの関係が未来にふさわしいのか」と、問われる状況へと差し掛かっていた時期だったと、そんな内的転機を、このカードは物語っているようです。

©小鳥遊陽柊

現在の状況：ペンタクルの 8（逆）

このカードは本来、「地道な努力」や「着実な積み重ね」を象徴しますが、逆位置で出たことで、その努力が空回りしている、または持続することの難しさを表しています。

葉山さんはこの関係に対して、誠実に、そして真剣に向き合い続けてきたはずです。相手の気持ちに耳を傾け、彼女との関係にも配慮しつつ、自分の愛情を真っ直ぐに伝えてきた。ですが今、彼の態度にはブレがあり、真摯に向き合ってきた葉山さんの熱量に見合った行動が返ってきていないことへの、徒労感や虚しさが募っていることでしょう。

さらに、このカードが逆位置で現れたとき、タロットは「何か大切なことを後回しにしていないか？」という問いを投げかけてくることがあります。

つまり、いま、目の前の問題に全力で向き合っているように見えて、その実、本当に優先すべきことが棚上げされてはいないかと。

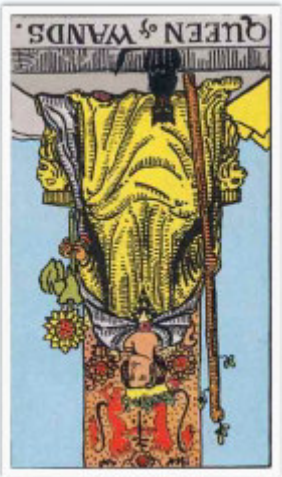
©小鳥遊陽柊

この場合、過去の問題から引き継がれてきた、彼と彼女、そして葉山さんとの関係性の「決着」がまさにそれです。どこかで『曖昧なまま維持されてきた構図』に、明確な方向性を示すべき時が来ている。そのサインとして、ペンタクルの8の逆位置は現れたのかもしれません。

Sample ©Haruhi.T

©小鳥遊陽柊

近い未来に予測される状況：ワンドの女王（逆）



このカードが逆位置で出るとき、内面に溜め込んできた感情、たとえば、怒り、不満、嫉妬、自信喪失といった感情が表にあふれ出しやすくなります。

特にワンドの女王は「女性としての自信」や「自立した魅力」を象徴する存在です。その逆位置が近い未来に出現しているということは、葉山さんの中にある女性性の輝きが、心の揺れや焦燥感によって曇ってしまう兆しを示しているとも言えるでしょう。

また、このカードにはもうひとつの解釈があります。
ワンドの女王の逆位置は、「自分より年上で世話好きな女性」を象徴することがあり、もし彼の元パートナーが年上であれば、彼女自身がこのカードに反映されている可能性があります。そのうえで、逆位置は対立・衝突を暗示することも。つまり、近い将来、葉山さんとその女性との間で、直接的な対話や、場合によっては口論にまで発展する可能性があるという暗喩でもあるのです。

©小鳥遊陽柊

ただし、このような展開は、葉山さんにとって精神的なダメージを強めるリスクがあります。
ワンドの女王の逆位置は「不毛な争い」や「情に振り回された判断」を警告するカードでもあります。

ですから、この場面では【感情を抑えつける】のではなく、【冷静さと理性を保つための環境整備】が求められます。

たとえば、信頼できる第三者に間に入ってもらい、感情がぶつかりあうことを防ぎながら話し合いの場を持つなど、冷静なプロセスを設計することが鍵となるでしょう。
（後ほど解説します、最終結果カードが「ソードのキング」であることも、この『理性を保つ人物』の必要性を後押ししています）

©小鳥遊陽柊

相手の気持ちの変化（過去）：カップの王（逆）

このカードの逆位置は、感情の不安定さや優柔不断さを象徴します。彼は葉山さんに対して確かに感情を抱いていたものの、それをどう表現すればいいか分からず、自ら選び取ることに躊躇していたようです。

特に《カップの王》の逆位置は、「誰かに頼られる」「愛される」という状態に心地よさを感じながらも、自分の意志で物事を決めるのが億劫に感じる心理を反映していることがあります。

つまり、彼にとっては葉山さんの想いを受け取ること自体は嬉しくもありましたが、
「今の関係性にどう答えればよいのか」「どちらかを選ぶという責任を負うこと」に対しては、どこか曖昧にしておきたいという気持ちも強かったのかもしれません。

©小鳥遊陽柊

相手の気持ちの変化（現在）：カップの6（正）

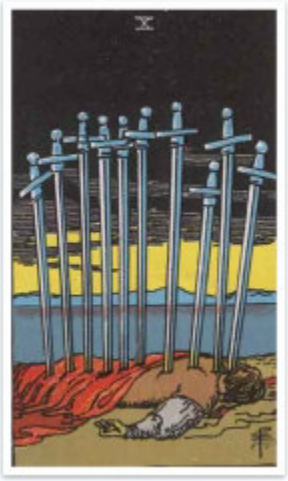
このカードは「懐かしさ」や「過去への郷愁」を表すカード。現在の彼の心には、『あの頃はよかった』というような、感情の回顧的傾向が強まっているようです。

彼女との関係についても「かつての穏やかだった時間」への執着がある一方で、葉山さんとの関係に対しても、「以前はもっとしっくりきていた」と感じている様子がうかがえます。これは愛情というよりも、「情」や「安心感」など、子供のような素直な感覚に近いものかもしれません。

どちらにせよ、彼はいま、『今ここ』の現実よりも、『過去』に心を向けている状態にあるようです。

©小鳥遊陽柊

相手の気持ちの変化（未来）：ソードの10（正）



このカードは、彼が今後、精神的な限界や深い喪失感を経験する可能性を示しています。状況が思うように運ばず、「何かを失った」と感じる痛みや後悔が生まれるかもしれません。

とくに、誰かを選ぶ、または誰かとの関係に終止符を打たねばならないような場面に直面し、その結果に心を痛めることもありそうです。

ですが、ソードの10は「これ以上の傷はない」という底を示すカードでもあり、彼にとってのこの苦しみは、むしろ吹っ切れるためのきっかけにもなるかもしれません。

終わりを経て初めて、彼自身のなかにあった本当に求めていたものが見えてくる。そんなタイミングが、近い将来に訪れようとしているのかもしれません。

©小鳥遊陽柊

葉山さんの気持ちの変化（過去）：ソードの騎士（正）

このカードは、突き動かされるような想い、そして言葉にして伝えることの大切さを強く示しています。

葉山さんが「この想いを伝えずに終わらせたくない」と行動に踏み切った、まさにその瞬間の気持ちがそのまま反映されたような一枚です。

《ソードの騎士》は、情熱と誠実さを持ってまっすぐ進む人物であり、その馬の手綱には小さな赤いハートが描かれていることからも、「愛に対しても俊敏でありたい」「まわりくどい関係ではなく、正直でありたい」という純粋な願いが伝わってきます。

さらに、葉山さんの手相からも、「言葉で確かめ合える関係でいたい」「誠実でありたい」という意志がうかがえ、気持ちを伝えずにはいられなかった強い心の衝動が、この時期にはあったことが明白です。

©小鳥遊陽柊

葉山さんの気持ちの変化（現在）：ペンタクルの王（正）

現在の葉山さんは、感情に揺さぶられながらも、非常に冷静で現実的な視点を持っています。

《ペンタクルの王》は、地に足の着いた判断力、堅実な価値観、そして人生を着実に築こうとする意志を象徴します。

とくに注目したいのは、このカードが稀に見る自制心の持ち主であることを示している点です。彼からの「3人でやっていけないか」という一見無責任とも取れる提案にも、激しく感情的にならず、あくまで大人としての立場や社会的倫理観に照らして対応しようとする姿勢は、このカードの持つ「器の大きさ」「誠実さ」を見事に体現しています。

今の葉山さんは、「感情」だけでなく、「人生全体を見渡す視点」で、この恋を考えているといえます。

©小鳥遊陽柊

葉山さんの気持ちの変化（未来）：ワンドの6（逆）

このカードが逆位置で出た場合も、基本的なポジティブな意味合いは変わりません。

ただし、「勝利」や「成功」を得るまでに予想以上の時間と努力を要すること、そしてすべてが完璧に思い通りというわけではないことを示唆します。

それでも、《ワンドの6》は、「納得のいく結果」や「自分らしさを取り戻す感覚」を示すカード。
前途にいくつもの障害があることを理解した上で、ある程度の勝利感と安堵感を得ることができる未来が見えてきます。

つまり、「完全な理想」ではなくても、自分の中で納得できる道を選びとっている自分に、葉山さん自身が満足している未来が描かれています。

©小鳥遊陽柊

最終結果：ソードの王（正）

このカードは、真実と理性、そして決断力の象徴です。ソードのキングは、感情に流されることなく、鋭い知性と冷静な判断力でもって物事を見極め、「本当に正しい未来」を選び取ることのできる存在です。

全体を通じて「青」が印象的だった今回のリーディングの中でも、とくにこのカードに宿る青の光、それも「薄い水色」の輝きは際立っていました。それは、スピリチュアルな飛躍ではなく、地に足をつけた現実的な思考を重視する冷静さを象徴しています。

　このカードには、2羽の鳥が描かれています。その姿はまるで、「本当の関係は2人で築くもの」であるという、現実的なメッセージを届けているかのようです。

つまり、彼が持ちかけている「3人で関係を続けていきたい」という提案は、現実的な着地点にはなりにくいことを、このカードがあらかじめ告げているとも受け取れます。
また、《ソードのキング》は「賢明な相談役」や「仲裁者」の

©小鳥遊陽柊

存在を示唆することもあります。もし、これから事態が動くときがあれば、それは信頼できる第三者が間に入ることで、ようやく建設的な方向に進む可能性があるということを示唆しています。

そして、その結末は『彼と誰が共に歩むか』ということ以上に、葉山さんご自身が『本当の人生』を歩むために、曖昧さや優柔不断さを断ち切るという方向に導かれるものとなりそうです。

そう、このカードの剣は、『誰かを斬る』ためではなく、『迷いを断つ』ためにあるのです。どれだけ苦しくても、揺れても、その先にあるのは、必ず、葉山さん自身が納得できる未来となりうるでしょう。それがたとえ、最初に願っていた形とは少し違っていたとしても、その選択が、本当に「葉山さんの人生」を取り戻すための一歩になると思われます。

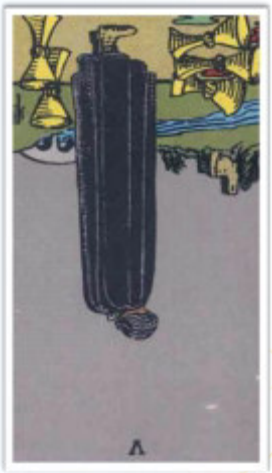
そんな強さと覚悟を、このカードは伝えているようです。

©小鳥遊陽柊

アドバイス（2枚）

アドバイスとして現れたのは、どちらも「感情」を象徴するカップのカードでした。それは、頭で考える理屈ではなく、葉山さんの「心の回復」を第一に考えてくださいというカードからのメッセージでもあります。

アドバイスカード：カップの5（逆）



まず《カップの5（逆位置）》は、過去の失望や後悔の中にあっても、『もう一度、手にできる希望』があることを告げています。

確かに、今までの出来事の中には「失った」と感じたものもあるかもしれません。けれど、「すべてを失ったわけではない」と気づく視点さえ持てれば、葉山さんは必ず前を向いて歩いていくことができます。

カード：カップの3（正）

このカードは、人生における喜びや祝福、信頼できる人間関係を意味するカードです。

©小鳥遊陽柊

今はもしかすると、信じたいのに信じきれない人との関係に力を注ぎすぎて、葉山さん本来の心の豊かさが見えにくくなってしまっているのかもしれません。

この2枚のカードから読み取れるのは
「彼との関係に絶望する必要はないけれど、それがすべてではない」
「葉山さんの心が本当に安心できるつながりを優先するように」
といったことかと思います。

冷静に見れば、「3人で関係を続けていく」という形は、いくら葉山さんが自制心を持っていても、現実的に難しいものかもしれません。

そして、最終結果として現れた《ソードのキング》も、まさに『現実的な2人の関係』こそが着地点であることを示唆していました。

ただし、それは『今の彼』との関係性だけに限られるわけではありません。すでに過ぎてしまった時間は取り戻せないと

©小鳥遊陽柊

しても、これからの時間で「新しい形」を築いていくことは可能です。

そして、**《カップの3》は、葉山さんの幸せを心から願う人の存在を示唆することがあります。手相においても『44歳からサポート線が出現』していました。**これらのことから、それはもしかすると、これから葉山さんの前に現れる新しいご縁かもしれませんし、すでに近くにいるけれど、葉山さんが気づいていなかった存在かもしれません。

いま大切なのは、「この恋をどうするか」ではなく、**「自分の人生を、自分の手に取り戻す」ことを最優先にする**という視点です。

©小鳥遊陽柊

鑑定まとめとご質問への回答

今回の鑑定では、手相・気血色判断、そしてタロットによる展開を通して、彼との関係のこれまで、今、そしてこれからについて、多角的に見つめてまいりました。

まず葉山さんの手相からは、誠実で、相手の心に寄り添おうとする強さと優しさが読み取れます。そして何よりも、「言葉でわかり合いたい」というまっすぐな気持ちと、関係性における誠実さを重視する姿勢が、線の形状や色調からもはっきりと表れていました。

その誠実な気持ちを、タロットの過去カード《ソードの騎士》も裏づけています。勢いに任せたというより、「伝えずに終わるのが怖かった」「心から伝えたかった」という内面の葛藤と強い意志があったのです。

一方、彼の気持ちをあらわすカードは、過去に《カップの王・逆位置》、現在に《カップの6》、未来には《ソードの10》が出ています。これらは一貫して「優柔不断さ」「過去への感傷」「未来への決断の苦しさ」を象徴しており、彼自身が「感情的には葉山さんに惹かれながらも、決断と行動には踏み出せずにいる」ことを示しています。

©小鳥遊陽柊

とくに現在の彼は、「以前はもっとしっくりいっていた」と思い出に浸っている反面、未来には「何かを失う痛み」と「仕方のなさ」が出ています。

つまり、「3人でなんとかやっていけないか」という彼の提案は、本気というより『逃げ』に近い願望であり、誠実に現実を見つめていくタイプの葉山さんには、やはり受け入れがたい形なのだと思われます。

そのことを、未来の葉山さん自身のカード《ワンドの6・逆》が語っています。想定よりも時間はかかるけれど、自分なりに納得できる形で、ある程度の成果や心の整理ができる、そうした「現実的な達成」が感じられる配置です。

そして最終結果として現れた《ソードのキング》。
これは、理性と誠実さで曖昧さを断ち切り、自分の人生を歩む決断をあらわします。また、カードに描かれる「2羽の鳥」が示すように、「2人で飛ぶ形が本来のあり方」であり、「3人での関係継続」は、やはり現実的に難しい未来を暗示しています。

加えて、アドバイス・カードとして現れた《カップの5（逆）》と

©小鳥遊陽柊

《カップの3》は、「心が癒される関係」「信頼や喜びを分かち合える絆」を大切にしてよいことを伝えています。

「失ったものばかりに目を向けなくてもいい、これから取り戻せるものがある」と。そして、「葉山さんの幸せを心から願う人の存在」も、すでに葉山さんの人生に関わろうとしている可能性を暗示しています。

では、葉山さんのご質問にお答えしましょう。

Q1. 年齢的にも厳しい中、子どもを望む気持ちはどうすればいいか

年齢を考えたとき、妊娠・出産が現実的に難しく感じられることは自然なことです。けれど、「今の彼との関係性」の中に答えを探すよりも、葉山さんが本当に望む人生のかたちにフォーカスを当てることが大切です。今後、現実的で誠実なパートナーが現れる可能性はありますし、「子を持つ」という形以外でも、「誰かを育む」人生の道はあります。

©小鳥遊陽柊

また現在、葉山さんは彼との関係に多くの時間とエネルギーを費やしていますが、それが本当に、葉山さんが望む未来（子供を持つこと含め）への最善の道なのか、冷静に考える時が来ています。年齢的な焦りも理解できますが、現在の消耗する関係に留まるよりも、一度立ち止まり、本当に心の安らぎを得られる関係性や環境を整えることが、結果的に望む未来へと繋がる可能性が高いでしょう。

Q2. 彼は今、どう思っているのか

彼の現在の気持ちを示す《カップの6》が示唆するのは、彼が「懐かしさ」や「過去への郷愁」に心を向けているということです。彼は葉山さんとの関係に対しても「以前はもっとしっくりきていた」と感じ、彼女との過去にも執着があるようです。つまり、彼は「今ここ」の現実と向き合うよりも、過去の「情」や「安心感」の中に留まろうとしていると読み取れます。決して葉山さんを嫌っているわけではありませんが、現在の彼は、積極的に二人の関係を進展させる意思や、責任を伴う決断をする準備が整っていない、優柔不断な状態であると言えます。

©小鳥遊陽柊

Q3. 今後どうなるのか不安

【問題の近い未来の状況】にワンドの女王〈逆位置〉、そして【未来の彼の気持ち】にはソードの10が出ています。これは、近い将来、葉山さんの中で感情的な高まり（不満や怒り）が生じやすく、彼もまた、精神的な限界や「何かを失う」という痛みを経験する可能性が高いことを示しています。

もしかしたら、彼と彼女、または葉山さんとの間で、これまでの曖昧な関係に「終止符が打たれる」ような出来事が起こるかもしれません。しかし、ソードの 10 は「これ以上の傷はない」という底を示すカードであり、この痛みが、彼にとって「吹っ切れるためのきっかけ」となることも示唆しています。

最終結果の《ソードのキング》が示すように、今後、曖昧な関係は断ち切られ、真実に基づいて「2 人の関係」を築く方向へと導かれるでしょう。それは必ずしも今の彼との関係に限定されるものではなく、葉山さん自身が本当に納得できる、現実的な関係性を手に入れるためのプロセスとなります。

©小鳥遊陽柊

Q4.「状況を変えるためのよいアドバイスがほしい」

葉山さんの手相とタロットから導き出される最善のアドバイスは、以下の3点です。

【提案1】ご自身の「心の回復」を最優先する

手相の気血色と対策カードの《カップの5（逆位置）》が強く示しているように、葉山さんは現状でかなり消耗しています。まずは彼のことで頭がいっぱいになっている状態から、ご自身の心の平穏を取り戻すことに意識を向けてください。

趣味に没頭したり、信頼できる友人と会ったり、リラックスできる時間を持つなど、葉山さんが心から「楽しい」と思えることに時間を使いましょう。失ったと感じるものに囚われず、「まだ手元にある希望」に目を向けることで、状況は好転し始めます。

【提案2】感情的になる状況を避けるための「冷静なプロセス」を構築する

ワンドの女王〈逆位置〉が示すように、今後、感情がぶつかり合うような展開が訪れる可能性があります。

©小鳥遊陽柊

感情に流されて状況を悪化させないためにも、もし彼との話し合いが必要になる場合は、信頼できる第三者（共通の友人やカウンセラーなど）に間に入ってもらうことを検討してください。葉山さんの理性的な側面（右手の感情線、ペンタクルの王）を活かし、冷静かつ客観的に状況を見極めることが鍵となります。

【提案3】「自分の人生を、自分の手に取り戻す」視点を持つ

最終結果の《ソードのキング》は、葉山さん自身が迷いを断ち切り、賢明な決断を下す力を持っていることを示しています。

彼は現在、過去に囚われ、優柔不断な状態です。彼がこの関係に結論を出さない限り、葉山さんは望む「子供」という未来に進むことができません。

今大切なのは、「この恋をどうするか」という視点から一歩進んで、「自分の人生を、自分がどう生きていきたいか」を最優先に考えることです。

《カップの3》は、葉山さんの幸せを心から願う人の存在や、

©小鳥遊陽柊

喜びを分かち合える新たなご縁の可能性も示唆しています。それは、今の彼との関係が「2 人の関係」へと進展する場合もあれば、葉山さんが新たな出会いを選ぶ可能性も含まれています。**葉山さんの手相には、44 歳前後で支援者が現れる吉相も出ています。**焦る気持ちもあるかと思いますが、葉山さんの人生を諦める必要は全くありません。

愛すること、信じること、支えること、これらはすべて大切です。ですが、同じくらい**「自分を幸せにする責任」**も、葉山さん自身にあります。

どうか、葉山さんが真の幸福を見つけ、葉山さんらしい輝きを取り戻すための道標となることを心から願っております。

鑑定は以上となります。

©小鳥遊陽柊

この鑑定が、葉山さんが現状を乗り越え、心から望む未来へと進むための、確かな一歩となることを心より願っております。

小鳥遊（たかなし）　陽柊（はるひ）

【公式HP】小鳥遊陽柊占い鑑定 Room

https://takanashi-palmread.com/

各種鑑定・講座メニュー

https://takanashi-palmread.com/menu

©小鳥遊陽柊